

3 EUの成り立ちとその影響

○国境を自由に越えられる暮らし

ヨーロッパの多くの国々：パスポートなしで自由に国境を行き来できる
 →宗教や言語などの文化が異なる人々どうしが生活

○ヨーロッパ連合の誕生

二度の世界大戦：ヨーロッパのほぼ全域が戦場となり、大きな被害を受ける
 →終戦後、ヨーロッパの国々が互いに協力し、発展していこうという動きが高まる

<EUのあゆみ>

年代	できごと
1967年	()発足
1993年	(***)の発足
1990～2000年代	北ヨーロッパや東ヨーロッパへ加盟国が拡大
2020年	加盟国は27か国

※()とは、EEC(ヨーロッパ経済共同体)からEC(ヨーロッパ共同体)を経て、1993年に成立したヨーロッパの地域統合組織のこと

現在のEU：人口や国内総生産(GDP)の合計でアメリカと並ぶほどに発展

<EUとアメリカ・中国・日本の比較(2018年)>

	面積(万km ²)	人口(億人)	GDP(兆ドル)
EU	446.5	5.1	18.7
アメリカ	983.4	3.2	20.5
中国	960.1	14.2	13.6
日本	37.8	1.2	5.0

※日本は2019年

○統合による人々の生活の変化

EU域内の人々の生活

- 国境の移動が自由：多くの加盟国間で国境の行き来が自由、好きなところに住み、働くことができる
- 共通の通貨(***)を導入：隣国での両替が不要、国境を越えた買い物や旅行が活発になる
- 関税の廃止：加盟国からの輸出品にかかる税金をなくし、EU域内の貿易が盛んになる